

としまの取り組み紹介

見て、触れて、感じて学ぶ

校庭からはじめる環境教育

環境教育の専門家が、校庭や地域の環境を題材に体験型の授業を行います。季節毎の自然観察や標本作り、草木染めやごみの調査などの授業を通して学びを深めながら、環境保全などの行動につなげています。



VOICE



NPO法人
Nature Center Risen
岩間美代子 先生

Q.授業の中で、豊島区だからこその行っている工夫などがありますか？

A.子ども達が毎日通う学校の校庭には、陽の光が注ぎ、雨が降り、風が吹き抜けます。耳をすませば鳥の声が聞こえ、チョウやトンボも行き交います。私たちが豊島区の学校で環境教育の授業を行うとき、はじめに子どもたちにとって最も身近な校庭の自然観察を大切にしています。「都会で自然が少ない」と思われる豊島区だからこそ、地域の生物の多様性に触れ、また、人も自然の一部だと実感することで、自然環境を守り広げていく意味を理解できるような授業を大切にしています。

Q.子どもたちにはどんな大人になってもらいたいですか？

A.自然の中にいると、教科書の勉強とは違い、答えが一つではない場面に多く遭遇します。虫が好きな子ども、植物が好きな子どもなど様々で、その理由は簡単には説明できません。自分と他の人は違う、ということを感じ、それぞれの感性や個性を受け入れていくことが大切です。環境教育とは、身近な自然への愛着と、遠くの人々のことも大切に想う想像力を培い、自らの日々の行動を律することが出来る人を育てることです。自然と共に生きること考えられる大人になってほしいと思います。

エコのヒミツを発見しよう

民間企業等による 出前授業

民間企業にご協力いただき、実験・実習を通じて楽しく「エコ」「省エネ」について学べます。

豊島区では企業・大学・NPOなど
様々な主体とつながりながら
環境教育を進めています！

令和7年度実施企業(五十音順)

サントリーホールディングス(株) / 西武造園(株) /
東京ガス(株) / 東京電力パワーグリッド(株) /
パナソニック(株)エレクトリックワークス社 /
マテックス(株) × (株)LIXIL



サントリーホールディングス(株)
「水育」



東京ガス(株)
「燃料電池ってなんだろう？」

「ヤゴレンジャー」とともに都会で命に触れあう体験を プールにいるヤゴ等の生きものの学習

平成13年から実施され、「ヤゴ救出作戦」として親しまれている本事業は、都会でも子どもたちが生きものに触れられる自然体験の場として、各学校に定着しています。参加した子どもたちからは、最初はヤゴに触るのが怖いと感じる子もいるものの、救出後には「来年もやりたい」「たくさんとれて楽しかった」などの声が聞けました。学習指導や見守りを行う地域ボランティア「ヤゴレンジャー」を区が派遣し、授業を実施しています。



ごみ問題について考えよう

3R出前講座

(ごみ減量推進課・豊島清掃事務所)

区立小学校の4年生を対象に3R出前講座を実施しています。屋外では中身の見えるごみ収集車を使ってごみの積込体験を行い、教室でごみの分別や3Rなどを学び、ごみ問題について考えます。



としまがいちばんきれいになる日

ごみゼロデー

(環境保全課)

毎年、5月30日は「ごみゼロデー」です。豊島区の町会・商店会・学校・企業などとともに、区内の清掃活動を行います。令和6年度は、1万人近くの方々にご参加いただきました！



もっと知りたい方は以下をCHECK!



『みんなが主役』

みなさんの意見を参考に、環境計画を見直しました！

「みんなが主役 地球にも人にもやさしい 持続可能なゼロカーボンとしま」を目指し、令和7年3月に環境基本計画の改定を行いました。ぜひチェックしてみてください！



詳細はこちら



エコのわ book

『生きものとなかよし』

はじめての飼育・観察⑥ ヤゴ・トンボのこども-

監修 / 小宮 輝之 編 / こどもくらぶ 出版社 / ポプラ社

イラスト付きで分かりやすくヤゴについて考えられる本です。豊島区の図書館で借りることができます。ぜひご覧ください。



としまみんなでエコライフ

普段の生活の中ですぐに取り組める省エネ行動のポイントを紹介しています。他にも環境に関するお役立ち情報がたくさん載っていますよ！



詳細はこちら



環境政策課instagramを開設

環境政策課の事業やイベントの様子を紹介しています。ぜひフォローしてチェックしてみてください！
豊島岡女子学園の生徒さんが考案したキャラクターです！



詳細はこちら